

平成30年2月16日

足立区立第九中学校  
学校長 長塚 琢磨 様

足立区立第九中学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 廣瀬 立男

## 平成29年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

- 学校の現状、成果と課題、重点的な取組事項等が、昨年同様わかりやすく作られている。
- 重点的な取組事項については、目標が正しく数値化され、実施結果も具体的でわかりやすい。
- 「十分に達成」が9つ、「概ね達成」が3つと昨年を上回る素晴らしい成果である。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 重点目標1…学力向上（基礎的基本的な学習内容の定着）

数学習熟度別指導、定期的確認テストの実施、放課後の個別補充指導の徹底により、基礎計算未定着生徒数が目標値の20%以下に対し、10%以下となった。さらには、区学力調査通過率65%の目標に対し、過去最高値の64.9%とあと一歩であったのは評価できる。そこには、教科指導法の改善に係る研修4回と効果的なOJTの改善・充実を図ったことも学力向上の一因と思われる。

- 重点目標2…健全育成（学校生活の充実・向上）

学校生活の満足度が89.4%と昨年より数値は若干下がったものの、目標の80%を大きく上回っている。学習活動への意欲は「学習での努力率」が目標の88%に対し、87.1%とおおむね達成している。部活動に関する数値も、91.6%と九中らしい良好な数値であった。更には、学校行事での充実率も97.1%とほぼ満点であり申し分ない。引き続き先生方の努力と工夫をお願いしたい。

- 重点目標3…小中連携（小学校との連携による教科等の研究を一層進め、学力向上や体力向上に結びつける）

小中一貫教育の視点に立った活力ある生徒の育成を掲げ、アクティブラーニングを踏まえた推進委員会、全体会、分科会、授業研究など10の研究授業を行い、成果をまとめ、連携小学校に提供している。6年生の中学校授業・部活動体験、中学生による小学校補充学習や朝の挨拶や行事訪問などを行い、生徒同士の連携も深めている。総じて連携は深まっており良い状況といえる。

- 保護者・地域への期待

恒例となった全教員と協議会との面談が九月にあり、今年も有意義な情報交換ができた。このように今後も継続することで、より良い学校経営に活かしてほしい。

### 3. その他

- 「規則を守る」「スマホ等の約束を守る」と回答した生徒の割合が都や全国と比較して高いのは九中生らしさを感じる。「先生は分かるまで教えてくれる」の回答が多いのも素晴らしい。
- 例年のことだが、文化祭での英語劇や弁論大会での表現力の高さは特筆もの。インプットのみならずアウトプットにも力を入れている点は高評価に値する。もはや九中の伝統芸といえる。
- 「1日の学習時間」「通話やメール、ネットの時間」の改善が今後の課題といえる。